

冠動脈カテーテル治療後患者の予後調査および治療時のADL・栄養状態指標とカテーテル治療後予後との関連についての研究

1. 研究の対象

高知大学医学部附属病院、あき総合病院、幡多けんみん病院の3施設において、2014年1月～2016年12月に初回の冠動脈カテーテル治療を受けられた方。

2. 研究目的・方法

上記期間内に初回の冠動脈インターベンションを行った全患者の経過・予後を明らかにする目的で本研究を行います。特に、同患者群において、冠動脈インターベンション時の患者の日常生活動作(ADL:Activity of daily living)および栄養指標などが、カテーテル治療後の予後予測因子として有用かを検証します。サブ解析として、対象患者群のうち心房細動合併症例の予後、透析症例の予後についても検討を行います。

カルテ記録からデータ収集を行い、経過やイベント発生についての情報がカルテから得られない場合は、患者のかかりつけ医療機関への情報提供依頼、患者・家族への郵送法での情報提供依頼、患者・家族への電話での情報提供依頼を行います。

データ収集解析を行う研究期間は倫理委員会承認日～2025年3月31日です。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：病歴、既往歴、治療歴、検査所見（検体検査、心電図、心臓エコー検査、心臓カテーテル検査など）、合併症の発生状況、カルテ番号 等

4. 外部への試料・情報の提供

外部（下記の研究組織以外の組織）への試料・情報の提供は行いません。

5. 研究組織

高知大学医学部 （研究責任者：老年病・循環器内科学教授 北岡裕章）

高知県立あき総合病院 （共同研究機関責任者：副院長 古野貴志）

高知県立幡多けんみん病院 （共同研究機関責任者：副院長 矢部敏和）

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

高知大学医学部 老年病・循環器内科学 医員 古島知樹（研究代表者）

住所：高知県南国市岡豊町小蓮

電話：088-880-2352（老年病・循環器内科学講座）

研究責任者：

高知大学医学部 老年病・循環器内科学 教授 北岡裕章

研究代表者：

高知大学医学部 老年病・循環器内科学 医員 古島知樹